

夏休みスペシャル学習会 防災について学ぼう！

火災や地震、大雨など、私たちの身近な場所には危険が潜んでいます。いざという時のために、一緒に防災について学んでみませんか？

日時 … 8月6日（火）10：00～

会場 … 倉吉市人権文化センター



- ① ポリ袋を使った防災クッキングをして、
食べてみよう！

10：00～12：30

- ② 防災グッズを実際に見てみよう！

13：00～14：00

- ③ 避難訓練と消火訓練をしよう！

14：00～15：00

申込み（8月5日しめきり）

倉吉市人権文化センター

☎（0858）22-4768

定員 先着20名

※アレルギーのある方は事前
にご相談ください

にほんごがくしゅうかい あんない 日本語学習会のご案内

にちじ がつ にち すい
日時：8月7日（水）
19：30～21：00

Would you like to learn Japanese with us?
Please feel free to come!

ばしょ くらよしじんけんぶんか
場所：倉吉市人権文化センター

ないよう にちじょうせいかつ ひつよう にほんご まな
内容：日常生活に必要な日本語を学ぶ



8月 手話教室のご案内

日時：8月8日（木）・8月22日（木）

10：00～11：00

場所：倉吉市人権文センター 内容：日常会話・手話歌

初めての方も大歓迎！！



ますな

倉吉市人権文化センターだより

2024年8月1日 発行 No.163 号

発行所：倉吉市人権文化センター

住 所：倉吉市鍛冶町1丁目2971-2

電 話/FAX：0858-22-4768

メールアドレス：jinkenbunka@ncn-k.net

部落解放研究第52回倉吉市集会が開催されます！

研究主題

「お互いを認め合い、安心して暮らせる人権尊重のまちづくりをめざして」

～多様な人権課題を通して、人々がつながり合うことの大切さをあらためて考える～

あらゆる世代が今日の人権問題を正しく理解し、自らの問題と捉え行動する視点に立った学習の場が今こそ求められています。本集会は、コロナ禍で失うことの多かった「人とのつながり」と「共有」を取り戻し、誰もが安心して暮らしていくことができるまちづくり、一人も取り残さないまちづくりを進めるため、参加者一人ひとりが自分達の思いと言葉で学習と実践を深め合う「市民集会」として開催します。

どなたでも参加できます。ぜひお越しください。



日 時 8月18日（日） 10：00～15：00

（9：30～ 受付開始）

会 場 （全体会）エースパック未来中心 大ホール（開会行事、講演会）

（分科会）エースパック未来中心及び倉吉交流プラザの各会場

講演会 「家族のなかの人権を考える

～DV・虐待・モラルハラスメントをとおして」

講 師 中村 正さん（立命館大学特任教授/一般社団法人 UNLEARN 代表理事）

お問合せ ☎0858-22-8130（実行委員会事務局 倉吉市人権政策課内）

人権問題講演会のご案内

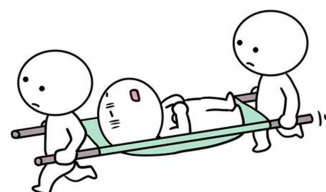
令和6年度 第3回倉吉市人権のために学ぶ同和教育講座

たかが搬送、されど搬送

～自分らしく生きることに寄り添って～

入場無料
要申込
(インターネット配信のみ)

日時 8月31日(土) 13:30~15:00
場所 倉吉交流プラザ 視聴覚ホール
講師 上野 泰葉 さん(くらよし民間救急ぬのこ 代表)



申し込み インターネット配信(ライブ配信のみ)
YouTube配信も行いますので、お気軽に自宅で受講できます。なお、事前申し込みが必要です。QRコードからとっとり電子申請サービスでお申し込みください。
申込締切 8月27日(火)
※手話通訳付。場内誘導、座席の確保等について、特別な配慮をご希望の方は8月16日(金)までにご希望の内容をお知らせください



お問合せ 倉吉市人権政策課(☎ 0858-22-8130)

令和6年度 第4回倉吉市人権のために学ぶ同和教育講座

若者と部落問題 ~20代の私たちが想うこと~

入場無料
申込不要

日時 9月8日(日) 13:30~15:00
場所 倉吉交流プラザ 視聴覚ホール
講師 北中 健太郎 さん(公立鳥取環境大学3年生)
中口 諒子 さん(倉吉市人権文化センター 指導員)



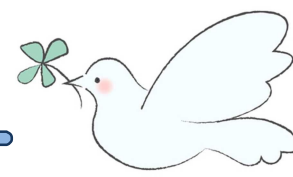
※手話通訳付。場内誘導、座席の確保等について、特別な配慮をご希望の方は
8月16日(金)までにご希望の内容をお知らせください

お問合せ 倉吉市人権政策課(☎ 0858-22-8130)

7月10日から8月9日は部落解放月間です。

終戦から79年...

8月15日は終戦の日です



8月15日は第二次世界大戦が終結した「終戦の日」です。

昭和16(1941)年、日本陸軍が英領マレー半島に奇襲上陸し、日本海軍がハワイ真珠湾を奇襲攻撃しました。日本は、アメリカ・イギリスに宣戦を布告し、第二次世界大戦の一環をなす太平洋戦争が開始されました。

昭和18(1943)年には、学生を軍に徴兵する学徒出陣を行い、さらには学徒動員で学校に残る学生や女性を軍事工場で働かせました。

戦争による被害は甚大で、東京大空襲をはじめとする本土への空襲、沖縄戦と同じく昭和20年に広島と長崎に落とされた原子爆弾などによって多くの方が犠牲となりました。

8月6日、広島に原爆が落とされた当時、広島市には居住者、軍人、通勤や建物疎開作業への動員等により周辺町村から入市した人を含め、約35万人の人がいたと考えられています。

また、日本人だけでなく、米国生まれの日系米国人や、ドイツ人神父、東南アジアからの留学生、そして、当時日本の植民地だった朝鮮と台湾、さらには中国大陆からの人々、そして米兵捕虜など、様々な国籍の人がおり、こうした人々も原爆の惨禍に巻き込まれました。



広島平和記念碑
(原爆ドーム)

爆心地から1.2キロメートル地点では、その日のうちにほぼ50%の方が亡くなられ、それよりも爆心地に近い地域では80~100%が亡くなられたと推定されています。また、即死あるいは即日死をまぬがれた人でも、近距離で被爆し、放射線による健康被害の重い人ほど、その後の死亡率が高かったようです。



昭和20(1945)年8月15日の正午、昭和天皇による玉音放送をもって、改めてポツダム宣言受諾を表明し、戦闘行為は停止されました。

終戦から79年が経ちます。戦争は最大の人権侵害です。しかし、世界各地では今も戦争や紛争が続いています。

平和とは何か、自分にできることは何かを一緒に振り返り、考えてみましょう。